

項目		対 象	目的	研修内容・方法	講師予定者
オリエンテーション		新採用者 転入者	軽米病院看護科への早期順応を図る	講義 1.看護科理念・概要・基本方針・組織体制 2.看護科運営組織体制・会議及び委員会 3.看護業務基準・看護倫理 4.教育理念・キャリア開発プログラム 5.勤務者としての心構え・接遇・就業規則 6.看護科自治会 他	看護師長 各部署担当者
キャリア別	レベルⅠ	新人	基本的な看護技術、技術の習得	新人看護職員研修プログラム参照	看護科教育委員会
		2年目以降	受け持ち看護師として能力を身につける	事例(課題)実践レポート 1)課題取組み説明導入講義「看護過程と標準看護計画の活用」 2)実践計画書作成	看護科教育委員会
	レベルⅡ	到達者Ⅰ	1.看護理論による看護実践の振り返り 2.新人看護師指導について学び、自己成長できる 3.自部署と関連する外来で継続看護を学ぶ	テーマ1:受け持ち患者の看護過程の展開 1)導入講義「看護理論の活用」 2)ケースレポート発表会 テーマ2:フレッシュパートナー研修 テーマ3:外来看護研修	看護科教育委員会
	レベルⅢ	到達者Ⅱ	受け持ち看護師として自立し、役割モデルを目指す (ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する)	テーマ1:受け持ち患者の個別的な看護過程の展開 1)導入講義「個別的な看護の展開」(講義+e-ラーニング) 研修を活かし部署で看護実践する 2)看護実践報告会 テーマ2:(実施可能な)看護研究計画書の作成と発表 1)看護研究導入講義 ・研究計画書の意義と書き方 ・文献検索 テーマの絞り込み 2)研究計画書発表会 テーマ3:コーディネーター研修(OJT)	看護科教育委員会
	レベルⅣ	到達者Ⅲ	部署において、看護の立場でリーダーシップを発揮できる (幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する)	テーマ1:幅広い視野で予測的判断を持った看護展開の実践 1)導入講義「リーダーシップ、現状分析、問題解決法、PDCAサイクル」 (講義+e-ラーニング) 自部署の問題解決に向けて事例を通して取り組む 2)看護実践報告会	看護科教育委員会
	レベルⅤ	到達者Ⅳ	医療のチームにおいて、看護の立場でリーダーシップを発揮できる (より複雑な状況においてケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する)	テーマ1:より複雑な状況にある患者のニーズに対して多職種と連携しリーダーシップを発揮して看護を実践する 1)導入講義「多職種、他施設との連携の中で問題解決」 「リーダー・ファーストステップ メンバーの力を引き出すリーダーになる」e-ラーニング 2)訪問看護ステーション及び介護施設での研修 3)看護実践報告会	看護科教育委員会
総合研修	看護教育委員会	看護要員	今年度の看護科の方針を理解し重点取組事項の達成のために役割を果たす	テーマ1:今年度の看護科方針を知る テーマ2:医療安全研修(麻薬・毒薬・ハイリスク薬管理) テーマ3:認知症看護 テーマ4:看護倫理研修 テーマ5:糖尿病看護 テーマ6:救急看護 テーマ7:摂食嚥下障害看護 テーマ8:静脈注射プログラムⅡ研修(IVナース研修)	講師:総看護師長 講師:薬剤師 講師:認知症看護認定看護師 講師:慢性疾患看護専門看護師 講師:糖尿病看護認定看護師 (二戸病院) 講師:救急看護認定看護師 (久慈病院) 講師:摂食嚥下障害認定看護師 (中央病院) 講師:IVナース ()
	看護記録委員会	看護職員	重症度、医療・看護必要度の評価ができる	1)講義・演習 重症度、医療・看護の必要度の評価方法 必要度記録の書き方 必要度評価演習	重症度、医療・看護必要度研修 修了資格者
	高齢者看護委員会	看護職員	認知症高齢者の看護の実践に必要な知識を習得する	テーマ1:高齢者看護の実践 1)ACPIに向けた取り組み(北部地区看護職員研修含む) 2)身体拘束最小化に向けた取り組み	高齢者看護委員会 北部地区看護職員研修者
	臨地実習指導者会	看護職員	臨地実習指導に関する知見を得、自己の実習指導に役立てる	1)講義 臨地実習指導者講習会伝達講習	臨地実習指導者講習会修了者
看護管理研修	看護師長	社会・看護の動向を捉え、看護管理を実践でき看護の質の向上を目指す	1)看護管理計画・立案・実践・評価(重点取組事項にあげた課題に取り組む) 2)労務管理 3)人材育成	総看護師長	
	看護師長補佐	看護師長補佐としての役割発揮と管理実践能力の向上を図る	1)看護管理計画・立案・実践・評価(重点取組事項にあげた課題に取り組む) 2)労務管理 3)人材育成	総看護師長	
	主任看護師	主任看護師として役割発揮を意識して課題に取り組む看護実践能力の向上を図る	1)主任看護師としての役割発揮 2)看護管理計画・立案・実践・評価(重点取組事項にあげた課題に取り組む) 3)労務管理 4)人材育成	総看護師長	
看護補助者研修	看護補助者	看護職との協働について理解し看護補助者としての必要な知識と技術を習得する(レベルⅠ) 看護補助者として自律し、役割モデルとなる(レベルⅡ)	1)講義・演習 ・総看護師長講話(医療制度概要と病院の機能組織 チームの一員としての看護補助者業務・守秘義務・個人情報保護) 2)日常生活に関わる業務の知識・技術の習得(食事介助) 3)基礎的な知識・技術の習得(おむつ交換・体位変換) 4)医療安全(基礎編) 5)感染防止(基礎編)	1)講師:総看護師長 2)講師:看護師長補佐 3)講師:作業療法士・理学療法士 4)講師:医療安全推進者 5)講師:ICTメンバー	
復職支援研修	3か月以上の休職から復職する職員	職場復帰の不安を軽減できる	1)復職前プログラムに沿った支援(本人と相談しながら) 2)復職時オリエンテーション 3)復職後プログラムに沿った支援(復職プログラム日誌の活用)	1)看護師長会	